

食品ロス削減推進サポーター 活動報告									
団体名（五十音順）	活動種別								
	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者助言	事業者等連携	その他	具体的取組
一般社団法人i-Sora	○	○	○				○		団体内でのサポーター育成を実施し、1名サポーター登録を行った。 削減全国大会（さいたま市）のブース展示にて、活動報告を行った。 地域で開催されるマルシェで、フードドライブボックスを設置しフードパントリーへ寄贈した。 地域で開催されるマルシェで、啓発用の冊子の配布や、よびかけを行った。
一般社団法人愛知県食品衛生協会							○		名古屋社会福祉協議会 名東支部を通じて「子ども食堂」10施設に「米」300kgを提供した。
NPO 法人青森県環境パートナーシップセンター	○	○	○	○					・児童向けの環境出前講座で、3Rや、地産地消の説明と共に、食品ロスについてふれ啓発活動しました。大人向けのワークショップでは、手作り調味料を紹介し、加工品の無駄買いをなくし、残量を少なくする工夫を話し合いました。また、SNSのプロフィールに、食品ロス削減推進サポーターと記載していたところ、問合せがあったため、次回募集掲載のHPをお伝えしました。・地元短期大学栄養学科の学生さんによる、生協の店舗での「台所発地球を守るアンケート」の取り組みに協力しました。・青森市主催「現場フェア」にスタッフとして協力しました。・月1回の会議の時食品ロス削減に繋がる買い物や日々の調理の仕方の工夫で減らすことが出来る話しをし、その後どうだったかが皆さんからこんな工夫したとか話してもらい共有しています。・令和4年度は、6月にアワード5階研修室にて消費者の会の大人8名に対し、「SDGsが目指す食品ロス削減」と題して講習会を開催しました。・大人向けの環境出前講座で、3Rや、エシカル消費の説明の時に、食品ロスについてふれて啓発活動しました。食品ロス削減推進サポーターであることをお話しして、来年度、食品ロスの説明をさせて頂きたいとPRしました。・5月市民大学「食品ロス削減から考える地球温暖化とSDGs」、6月消費者の会「SDGsが目指す食品ロス削減」9月油川中学校総合的な学習「食品ロスについて」の3講座を実施しました。・SDGsについての講座を実施しました。・目標13を中心に地球温暖化の要因と影響について、地球温暖化対策として、企業や自治体の取り組み、私達ができる温暖化対策、目標12を中心に食品ロスの現状について、食品ロスと地球温暖化の関係、食品ロス削減のために私達ができること、市の出前講座でエコクッキングを実施した際、国民が一人が毎日おにぎり1個分の食品を捨てていることを話したところびっくりされた。食品ロス削減推進法が令和元年に施行されたことは知られていなかった。調理実習等では、ベジブロスの作り方やレシピを伝えて喜ばれた。ひとつの鍋で作る、皮ごと使うなど、食材を残さず使い切るレシピを実践した。リングでは、もっとも廃棄が少ないスターカットの普及を図った。・食品ロス削減推進サポーターのひとりとして廃棄される食材を如何にして少なく美味しいメニューができるか考案し、実際に調理してみました。
NPO法人 青森県消費者協会	○	○							○当協会主催の「第56回青森県消費者大会」を令和4年10月3日に開催し、出展団体による展示・即売コーナーを設置した。出展11団体の内2団体が「食品ロス削減に係る展示（ポスター掲示等）」、「食品ロス削減活動のすすめ」のテーマで「食品ロス削減」について啓発を行った。 参加人数：110名 ○青森県からの受託事業として実施している「県民を対象とした移動消費生活講座」において、エシカル消費の説明の中で「食品ロス削減」を取り上げた。 講座開催回数：30回 参加人数：1066人
青森県生活改善推進員連絡協議会	○			○					○当会の会員に、食品ロスについて、資料を配付、活用して講話。 ○青森市内の私立高等学校調理科1年生を対象に実施。 将来、食に関係する仕事をすると想定して、食品ロス、自給率などについて、テキストを配布、活用して講話。 買い物時には手前からとる。値引き商品を購入する場合は、買わずに注意し必要な分だけ購入するようにする。 頂き物で大量になった場合には、小分けにして冷凍するなど保存するようにしている。また、調理の時にはできるだけ捨てる量を減らすように皮ごと使う。 調理実習を行う場合にも、できるだけ生ごみを少なくするように話をしている。
青森県地域婦人団体連合会									コロナ禍の影響で思うように活動できませんでした。それでも婦人会独自では料理実習や啓発活動が出来たことは良かったと思っています。
青森県庁				○					食品ロス削減をテーマとし、3団体（小学校1校、高校1校、その他1団体）に対し、出前講座を実施した。
秋田県	○								・出前講座で、地域の高齢者学級、食育や教育研究会の場で、食品ロス削減についての普及啓発を実施した。 ・食品ロス削減に関するイベントを開催した。
朝日町食生活改善推進協議会				○			○		・朝日中学校特別支援クラスの生徒への「食べ残しをなくそう」「食材の使い切り～無駄を出さない」の指導（1回） ・宿泊者やランチの飲食者に必ずお持ち帰り用テイクアウトボックスを配布（旅館業において）
嵐山こども食堂	○		○			○	○		こども食堂開催・フードドライブ活動（食材の積極的募集）・フードパントリー活動（お米と食材の無償配布）
板橋区消費者センター		○							「食品ロスを減らそう～今日からできること」「板橋区のフードドライブの取り組み」をテーマとした板橋区消費者センターに登録された消費者団体及び区民向けの研修会を開催。
株式会社 若野			○						併設の小売店舗において毎月一回行うキッズキッチン（子供向けソーセージ教室）内で消費者庁からの啓発物『かいじゅうステップSDGs大作戦』を製本したものを読み聞かせている。
エコマインドの会			○					○	・千葉県地球温暖化防止活動推進員として市役所受付前のスペースでパネル展示をした。・環境研究所のネットワーク図（食料、災害と安全保障）や「地域循環共生圏」の図を利用して、食品ロスについて質問した。・パネルを見て立ち止まって下さる通行人と話し合い、日頃感じていることや日常の様子を伺った。・食費やエネルギーの高騰について率直な意見を聞くことができた。
江別消費者協会	○						○		消費者協会役員に向けた講習会「食品ロスを減らすために」資料 消費者協会事務所にフードドライブの箱を設置 食品ロス削減の取り組み・消費者協会主催に講座にフードドライブの箱を設置し協力依頼と事業のPR 江別市の代表的なイベント「やきもの市」のブースでフードドライブの活動啓発
大阪友の会	○		○						1. 大阪友の会の会員向け講習会の内容を伝える。2. 大阪友の会の家事家計講習会で広く伝える。3. 地域との共催のイベントで展示をして参加者に伝える。
大阪府消費生活リーダー会	○	○							地方公共団体の大阪府のイベントの大阪府消費者フェア2022にて、パフォーマンスコーナー（消費者トラブルに関するクイズ）にて、食品ロスの初歩的な取り組みの前提知識となる、食品の表示期限を動画にてクイズを用いて理解を深める啓発を行った。 詳細は動画資料も含めて当団体の公式サイトで閲覧可能です。 <a href="https://ocll.jp/archives/903">https://ocll.jp/archives/903</a>



食品ロス削減推進サポーター 活動報告

団体名（五十音順）	活動種別								具体的取組
	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者助言	事業者等連携	その他	
滋賀県地球温暖化防止活動推進センター	○	○	○	○					①滋賀県地球温暖化防止活動推進センター 発行の啓発冊子 「地球温暖化とわたしたちの暮らし方」 P13 食品ロス削減についてできることを掲載し、学校、公民館等に配布し、啓発を実施した。 ②出前講座において、食品ロス削減についての学習を行った。 2/16 食とエネルギー 大津市立障害者福祉センター 3/1 「食とエネルギー（食の部）」 レイカディア大学 3/1 「食とエネルギー（ゴミの部）」 レイカディア大学 など多数 ③イベント「みんなで減らそうプラスチックごみ・食品ロスatイオンモール草津」で県域ラジオ局「FMしが」と連携し、会場で啓発並びに、ラジオでの放送を行った。
一般社団法人静岡県地域女性団体連絡協議会	○		○						当協議会では、地球温暖化対策として、今年度から「温室効果ガス排出抑制」の観点から生ごみ減量を推進していくことになりました。家庭における生ごみ減量のステップとして、①買わずに済ませない②作りすぎない③食品表示を理解する事④それでも出てしまった生ごみはダンボールコンポストで堆肥化する事 の4つを掲げています。食品ロスサポーター登録をしたうえで、生ごみ減量の啓発活動ができました。まずは、当協議会の会員に啓発をしています。いずれ、この4ステップを実践した会員が、自分の生活する地域で、地域住民を対象に出前講座を実施して啓発するとう流れにもっていかためです。今年度は当協議会のうち、3団体へ出前講座に出向きました。ダンボールコンポストのやり方までお伝えしてきました。3団体の会員の多くがダンボールコンポストを実践して、生ごみ減量をしています。
柴田町立槻木小学校				○					○食品ロス削減のための授業実践 ○保護者へ食育だよりの発行（2回） ○放送で食品ロス削減への呼びかけ
食支援ネットかながわ	○						○		フードドライブとして、個人・企業・社会福祉協議会等から食品や日用品等を随時頂き、それを月2回行っているフードバンダーで配布しています。人数は、全体で150人から200人です。
白井環境ネットワークの会		○		○					1月20日から1週間、市と環境市民団体で構成する「白井環境フォーラム」において、活動展示のパネル展示があり、「減らそう食品ロス」のパンフレットを配布した。会員が主催している子どもクラブにおいて、今や見向きもされない「洗神」を頂いて、干し柿づくりを行った。
生活協同組合コープデリにいがた	○								・組合員活動や職場内でのフードドライブの活動
生活協同組合パルシステム山梨	○						○		・組織内での食品ロス削減サポーターの育成 ・フードバンクや地方公共団体と連携したフードドライブ運動
認定NPO法人セカンドハーベスト京都				○					主に京都市内の小学校にて「食品ロス削減のための出前授業」を実施しました。さらに今期は従来型の出前授業のほか、オンライン講座や社会人を対象とした出前講座も実施するなど、新たな取り組みもしました。現在の食品ロスの現状と個人でできる対策について等話し、食品ロスについての理解を深めてもらえるよう活動しました。
特定非営利活動法人 セカンドリーグ 神奈川	○	○	○	○	○	○	○	○	当法人では、食品ロス削減としてフードドライブを独自イベント、他企業との連携イベント、ボランティア団体と連携フェスタ等で実施しました。講師活動としては、県民向けのカルチャー講座や、修学旅行生の体験受け入れでの出前講座、企業の新研修での講師として派遣対応しました。食品提供企業に向けては、削減の取組みの協働の取組みとして、定期的に廃棄する前に引取り、県内外のフードバンク団体や子ども食堂等へ提供する活動と共に、食品の第二の活用方法の提案なども行いました。各地のフードバンク団体や支援活動団体の状況を伺い、それぞれに必要な食品の提供する方法も、独自だけでなく、他業種にも協力してもらうようなネットワークを現在も継続して構築しています。
認定NPO法人 地域環境ネットワーク				○					小学校2校で高学年を対象に、温暖化防止の出前授業を行った。その際に、食品ロスや給食の食べ残しをしないことなどについて子ども達に説明をした。
公益財団法人千葉県老人クラブ連合会									令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止のため本連合会が関係する学習会は、ほとんど行われませんでした。新年度からは事業の再開が見込まれています。
特定非営利活動法人 チャイルドケアセンター									特に活動していない
中国学園大学								○	大学の調理実習（管理栄養士養成課程の1年生）において、食品の下処理で生じる廃棄部位と廃棄率の計算方法について指導した。 また、廃棄部位が少なくなる野菜の皮のむき方や切り方、焼き魚の食べ方について指導した。
土浦市まちづくり市民会議		○	○						12/4 都和地区公民館まつり 食品ロス削減啓発パネルの展示及び啓発チラシの配布 1/28 男女共同×市民協働フェスティバル 食品ロス削減啓発パネルの展示及び啓発チラシの配布
東海学院大学	○	○	○	○	○	○	○	○	2022年度の具体的な取組内容については以下の通りである。 ①学内の食品残渣を堆肥化し慣行圃場・有機圃場にて年間20種類の野菜を栽培し、出荷できない規格外野菜を主軸とした食品ロス削減やエンシカル消費の啓発活動を岐阜県・各務原市・東海農政局等と連携して多数展開（幼小中高での出前講座、企業・地域へ講師派遣、ワークショップ、食品ロス削減レシビ作成、食品ロス削減リメイク料理動画制作、環境・健康フェア開催、パネルディスカッション開催、フードドライブ、ローリングストック、子ども食堂等）している。2022年度の対面イベント参加者3620名であった。食べきり運動の強化によって学内食品ロス量を前年比0.6割削減 ②規格外野菜等を利用した6次産業化の取り組みをJAぎふ、JA全農岐阜、各務原市・白川町等と連携して展開し、2022年度は11品の商品化を行い、それら商品を通して食品ロス削減の啓発活動を7県にて展開した。 ③Z世代向けの食品ロス削減のための調理実習5回開催、高大連携の取り組みを実施した。 他
徳島県消費者協会	○		○						食品ロス削減月間を中心にキャンペーンを実施
一般財団法人徳島県婦人団体連合会	○		○						・徳島県下で、2,000人アンケートを取り、考察をし、徳島県婦人問題調査研究発表大会において発表をした。 ・地域婦人会にて、アンケート集計結果の発表を受け話し合った。 ・阿南市婦人連合会では、食品表示についての研修を行った。 ・使い切れない未使用品をバザー等で使用した。
苫小牧消費者協会	○	○	○					○	2022年8月 8名登録 学習会、出前講座、消費生活展展示し食ロスポスター展示、当協会だより掲載、その他
富山県環境保健衛生連合会	○		○						・高岡市のフードドライブの取組みを10月29日に行われた県大会において、事例発表し、県内15市町村の出席者に広報活動を行った。 ・県内15市町村の事務局にサポーター制度の周知に取り組んだ。

食品ロス削減推進サポーター 活動報告		活動種別							具体的取組
団体名（五十音順）	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者助言	事業者等連携	その他	
富山県婦人会	○								団体内での学習活動においては、食品ロス削減に配慮する。 例 料理教室 ロスがでないよう気配りをしている。 残った食材を使ってできる献立も準備。 アンケート調査の実施 2022年8月に県民対象に環境に関するアンケートを実施。調査結果については広報紙に掲載。 未だ知られていない部分もあることから、さらに周知に努めていく必要性を感じている。 家庭ごみの計量を実施 生ごみを何とか減らしたいという意識の向上につながっている。 結果については各参加者に知らせるとともに、報告書などに掲載 子供を対象にした学習会を実施 その他、地域において必要に応じて啓発活動に努めている。
名古屋学芸大学管理栄養学部				○					高校での出前授業
奈良県食と農の振興部豊かな食と農の振興課	○		○				○	○	・「奈良県食品ロス削減啓発イベント」の開催 ・「奈良県食品ロスポータルサイト」の制作 ・職員を対象としたフードドライブの実施 ・リーフレット等の資料の配布による啓発 ・小売店と連携した「てまえどり」の推奨 ・出張授業による啓発 ・フードバンク活動を行う団体等の取組を支援 ・農産物直売所を介し、まだ食べられるが販売できない農産物をこども食堂へ提供
奈良市	○			○		○	○		*市内小学校の授業内で、本市職員による食品ロス削減キャラバン（出前講座）を実施し、「てまえどり」 「給食の残渣軽減」に向けた周知活動を行った（7校） *市内の公民館で、婦人会などの各種団体向けに、食品ロス削減を含むごみの減量に向けた出前講座を 行った（10団体） *てまえどりのポスターやポップといった啓発物を、市内の食品小売業の店内に掲示した（25事業者） *留学生が多数在籍する日本語専門学校にフードバンク奈良を紹介し、学生に向けたフードバンTRIESを 行った（2校）
新潟市役所		○						○	・まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を使ったレシピを募集する「にいがた市エコレシピコンテスト」を開催。 ・イオンスタイル新潟南で開催した食育ミニイベント及び、朱鷺メッセで開催された世界津波サミットにて、食品ロス削減に関するポスターを設置し、来場者に市が作成した「エコレシピコンテスト入賞作品レシピ集」や資源やごみの情報紙「サイチョプレス」を配布した。 ・農家や家庭菜園で余っている野菜などの寄付を受け付け、子ども食堂へ提供する取り組み「フレッシュフードシェア」を開催。
公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会（NACS）	○	○	○	○		○	○	○	①2022年7月に食品ロス削減推進室長にもご講演いただき内部学習会を開催したほか、2023年3月には会員サポーターの活動紹介や活動に関する情報共有のため、サポーターフォローアップ講座を開催した。（欠席者には動画配信） ②地域の消費生活センターや自治体の依頼による市民講座、大学、高校、社会人大学、小学校、保育園給食調理員向け研修会へ講師を派遣、サポーターの属する自治会や同窓会等のグループでの講座など、啓発講座を23か所で開催、合計757名 ③に受講いただいた。サポーターが講師を務めた、環境カウンセラー向けオンライン研修での食品ロス講座には約1000名が受講した。 ④企業に勤務するサポーターによる職場での提案。 ⑤ドギーバッグ普及活動やフードバンク活動を通じた事業者との連携及び助言を行ったサポーターもいた。 ⑥団体が作成したエシカル消費や食育等の教材に、食品ロス削減についての内容を盛り込んだ。
浜松市消費者団体連絡会	○	○	○	○				○	・容器包装調査と合わせ、スーパー、ドラッグ(食品扱い店舗) に向いて店舗での消費者対応、取り組み状況調査を行った。 ・小中学生に環境、食品ロス削減ポスター募集し、生活展にて展示、表彰行いこのほど5月より1カ月清掃工場の啓発施設にて貸出、展示が行われている。 次回新年度の作品募集も併せて行っている。 ・R4年11月、R5年1月の消費生活展にて食品ロス減らそう展示を行い、一般市民に声掛けを行った。 ・R5年1月消費者庁主催の消費者教育フェスタ（浜松会場）に参加食品ロス削減のパネル展示を行った。 ・生活展で配布しているくらしの健康カレンダーに具体的にそれぞれが実践できる削減例を示した。
株式会社ハローズ		○		○		○	○		コミュニティバンTRIESの設置拡大 12ヶ所 添付別紙 講演 14回 添付別紙
東大阪市消費者団体協議会	○	○	○	○		○			行政と協働で学習し、市民に啓発・東大阪市消費生活展と環境フェスでパネル展示し提案・万代スーパーで食品ロス削減についての話し合いを実施
ひとえの会		○							消費生活講座ステップアップ講座内模擬講座 講座タイトル：食品ロスって何？「いただきます」と「もったいない」 講師人数：3人 講座内容：食品ロスとは？/期限表示とエシカル消費/グループワーク/まとめ 消費生活講座 出前講座「上手に買ってムダなく食べよう～身近にできるエシカル消費」 ●個人としての活動 1. 食品ロス削減全国大会inさいたま～もったいないを、モットーに、～に参加 2022年10月30日（日）市民会館おみやげ（RaiboC Hall）にて 主催：全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会、さいたま市 共催：消費者庁、農林水産省、環境省 後援：さいたま県 ・NPO元気ネットの活動の一環として会場に参加し、その様子をNPO元気ネットのHPに掲載した。http://www.genki-net.jp/3r_report/2259/ 2. 「せたがや食の安全安心/カナルディスカッション 知らず！ 知らず！ 食品の表示」に出演 2022年12月28日～2023年6月30日まで世田谷区オフィシャルチャンネルにてオンライン配信http://www.youtube.com/watch?v=vLJ7qKHqUE 主催：世田谷保健所生活保健課食生活推進室 ・消費者代表として参加、消費者庁、事業者との質疑、意見交換を行った。 ●活動場所：第3回「救済ガイドライン作成検討会」にて関係団体からのヒアリング発表の中で ・食品ロス削減推進サポーターを紹介し、メンバーであること。 ・「残さず食べよう！30・10運動」を紹介した 立場：一般社団法人消費科学センター理事として 日時：令和4年12月19日（月）17:00～19:00 主催：厚生労働省社会・援護局障害福祉部 企画課アルコール健康障害対策推進室 ●地域に根ざした食と農の講座「江戸東野野菜大蔵大根を収穫しよう！～世田谷の食と農を未来につなぐ！ 伝統の大蔵大根～」2022年11月20日（日） 世田谷区内農園 主催：NPO法人フード・風土（あるいはNPO法人） ●SDGsと食品ロスと江戸時代！ 2023年2月4日 世田谷環境学習会 zoomにて。参加者10名

食品ロス削減推進サポーター 活動報告

団体名（五十音順）	活動種別								具体的取組
	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者助言	事業者等連携	その他	
一般財団法人 広島県環境保健協会	○	○		○			○		<p>○出前講座の開催 地元小学校児童や住民を対象に、地球温暖化対策地域協議会と協力しながら、食品ロス削減をテーマにした講座を実施した。</p> <p>○公衆衛生推進協議会（市の住民活動リーダー）と共に、モデル事業「家庭の食品ロスチェック事業」を実施 県内の7市町で食品ロスの啓発及び、保存食品を対象にした賞味期限チェック事業を展開。認知度や食品チェックの結果などを記録し、県内にその成果を発信した。（約1,052世帯参加 回答回収は252件）</p> <p>○学習教材の作成・配布 公衆衛生推進協議会向けに作成している手帖に食品ロスに関する内容を掲載し、県内の推進委員に配布した。（約8,000世帯に配布）</p> <p>○地方公共団体と連携した啓発活動 はつかいち環境フェスタにてパネル展示を行い、来場者にクイズやゲームを楽しんでもらいながら啓発を行った。（11/5開催、廿日市主催）</p> <p>○団体独自のイベントなどでの啓発 地元大学の広島経済大学と協力しながら、ショッピングモールでパネル展示、クイズ、カードゲーム、食品ロス削減につながるレシピの紹介などを行った。（2/18開催）</p> <p>○食品事業者等と連携した食品ロス削減の取組 株式会社ハローズ様と協力しながら、フードバンク、フードドライブに関する情報を関係団体に情報提供し、食品ロス削減につなげた。</p>
広島市環境局環境政策課	○	○	○	○		○	○	○	<p>①広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会（市民・事業者・行政で構成）による食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の実施 ・スーパーマーケットの店頭で、買物客に食品ロス削減の取組を呼びかける「ごみ減らそうデー」の実施 ・飲食店等を対象とした「食べ残しゼロ推進協力店」*及び食品小売店を対象とした「食品ロス削減協力店」の登録・PR （*令和5年3月1日～「食べ残しゼロ推進協力店」を「食品ロス削減協力店」に統合）</p> <p>・環境イベント等への出展に合わせたフードドライブの実施 ・生ごみリサイクル講習会やエコクッキング教室の開催 ・ごみ減量啓発DVDの市民への貸出及びYouTubeへの公開 ・食品ロス削減イベント「スマイル！ひろしま広場」の開催（令和4年10月30日開催） ・スーパーマーケット等と連携した「てまえどり」運動の実施</p> <p>②学生等と協働で実施した事業 ・エコクッキングレシピの作成、教室の開催、動画の作成・YouTubeへの公開 ・フードドライブの実施</p>
ひるぜん塩釜キャンプヴィレッジ 特定非営利活動法人ふぁみりあネット	○	○	○					○	<p>まずは、施設内で働くスタッフへの教育を行い、意識付けをした。奥庭市のエコテイクアウト実践店への登録・認定。</p>
フードバンクそお	○	○	○	○			○		<p>フードバンク活動を通して食品ロス削減に取り組んでおります。 今年度は、高校での授業、民生委員への説明、県の母子寡婦研究会での講演などを実施いたしました。</p>
一般社団法人フードバンク東九州	○						○		<p>食品ロス削減推進サポーター育成講座を下記の日程で全6回開催しました。現在93名の食品ロス削減推進サポーターの方々に新たに登録申請中です。（2023年2月6日、8日、9日、10日、3月21日実施分）</p> <p>・2022年10月30日 団体内開催 ・2023年2月6日、8日、10日 消費者庁主催 オンライン講座に当団体代表理事の講座を加えて開催 ・2023年2月9日 団体内開催 ・2023年3月21日 団体内開催</p> <p>講座開催時には食品ロス削減推進サポーターの方々に設営や運営をボランティアいただき、食品ロスについて周知する活動を行っていただきました。</p> <p>地元の食品事業者や食品卸業者と連携し、食品業者から受領した食品や、企業が実施したフードドライブの食品などを受領し、フードバンクやコミュニティパントリーにて、団体や個人の方に譲渡しました。その際、検品作業・搬入作業・陳列作業（食品棚の整理）については、食品ロス削減推進サポーターの方々にボランティアでご参加いただき、活動を通して食品ロスを身近に感じていただく機会を設けました。</p>
特定非営利活動法人フードバンク福岡	○	○	○	○	○	○	○		<p>企業の社員の社員研修（ダイドドリンク）、福岡市各自治体の学習会6会場、小学校の授業2校、大学の授業4会場 経済同友会、ライオンズクラブ等、生協4会場等で学習会の開催 福岡市環境フェスタ、3Rステーションイベント、福岡西区環境フェスタイベント出店 視察対応20団体 シンポジウムの開催、行政、施設、企業100名程度参加</p>
特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会				○					<p>大学の授業で講演。</p>
福岡県 環境部 循環型社会推進課		○	○	○	○	○			<p>・食品ロス削減マスター兼食品ロス削減推進サポーターとして、県内の学校や地域の学習会、団体や企業の研修会等に派遣。食品ロスの現状と食品ロス削減に向けた福岡県の取組の紹介、家庭でできる食品ロス削減の取組について講義したほか、食品ロスについて考えるワークショップやエコクッキング等を行った。</p>
福島県生活環境部消費生活課	○	○	○	○					<p>○食品ロス削減に関する研修会の実施 ⇒ 消費者教育の担い手として重要な役割を果たしている各市町村の消費者行政担当者や消費生活相談員、消費者団体の構成員を対象に、消費者が実践できる身近な取組について理解を深め、自分ごととして考える契機とする研修会を開催した。</p> <p>○出前講座の実施 ⇒ 「消費期限・賞味期限と食品ロス」、「エシカル消費等」をテーマとし、学校教員や生徒、一般県民向けに出前講座を実施し、啓発した。</p> <p>○食品ロス削減啓発ポスターの制作 ⇒ 学生からの提案を取り入れた啓発ポスターを作成し、消費者が買い物をするときに地球の未来を考えた消費を心がけることで、食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減につなげた。</p> <p>○スーパー等と連携し、実証店舗における啓発コーナーの設置及び週末イベントの開催 ⇒ 食品ロスとエシカル消費などをテーマとした漫画風の大型パネルの設置やてまえどりの啓発POPをするともに、週末には、子どもから親や祖父母へと「エシカル消費」の認知の輪を広げていく取組として「エシカルお買い物チャレンジ」を実施した。また、イベントでは、アンケートを実施し、事業効果を検証した。</p>
富津市食生活改善サポーターの会		○	○						<p>・公民館の工教室、市の出前講座、地区活動のなどで、食品ロスの講話と食品ロス（節水など）の実践としてポリ袋料理（バッククッキング）の調理実習を行い、作り方の講師をした。</p>
一般社団法人ふるさと家舎				○			○	○	<p>①市民団体とフードバンク団体をつなぎ、食品ロスを活かした子どもへの食事支援を月4回（年間52回）実践した。 ②SDGsを研究する大学ゼミと協働して、SDGsをクイズ形式で学ぶ体験型研修会を開催し、学生が考案した食品ロス削減と食品ロスによる環境負荷を知るクイズ問題を監修した。</p>

食品ロス削減推進サポーター 活動報告

団体名（五十音順）	活動種別								具体的取組
	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者助言	事業者等連携	その他	
別府清部学園短期大学	○								別府清部学園短期大学では、Mizobe食のコンテストを毎年実施している。今年のテーマを「食のSDGsを考える～減らそう！フードロス～」とし、食材を大切に、フードロス削減に向けたレシピや工夫、アイデアを募集した。大分県内の高校生・大学生から106連の応募があり、一次選考にて選出された8名の最終審査を行った。最終審査では、調理審査、試食・プレゼンテーション審査を行うとともに、料理研究者・管理栄養士である満留邦子先生のオンライン講演会を行い、学生や参加者へ食品ロス削減に向けた取り組みを紹介した。 コンテスト終了後は、優秀な作品を集めて、フードロス削減のためのレシピ集を作成・配布することにより、今回参加しなかった方にもその効果が広がるようにした。 また、学生へ食品ロス削減推進サポーターのオンライン講座案内を行った。
舞鶴市食生活改善推進員協議会		○							・野菜の使い切りや保存方法の媒体を作成し、市内のイベントで掲示。レシピを配布した。 (きゃべつ、ごぼう、にら、人参、大根、小松菜、万願寺とうがらし) ・スイカの皮の活用方法を紹介。 皮の白い部分を甘酢や塩レモン、塩こうじに漬けて食す。
宮城県	○		○	○			○	○	・学校給食一口メモで食品ロス削減について啓発を行った。 ・近所に自作のパンフを作り食品ロス削減について啓発を行った。 ・所属の会で、食品ロス削減についての参加講座内容の報告を行った。 ・地域での集まりでの啓発、生協店舗での協力を行った。 ・学校現場での授業で食品ロスガイドブックを使用し、食品ロスの現状周知、家庭でできる取組等の助言を行った。 ・食品を扱う業務に従事しているため、業務会議で在庫期限や販売期限の延長について提案したり職員に啓発した。
室蘭消費者協会	○		○						○ フードドライブのチラシを市内町会に啓発のため配布しました。 ○ フードドライブのアンケートの実施
山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課	○		○	○				○	◆地元プロサッカーチームのホームゲームに合わせて開催した、環境イベントでの啓発 ◆地域のイベントでの食品ロス削減啓発ちらしの配布や動画の放映 ◆小学校での食品ロスに関する環境学習の実施 ◆食品小売店舗等での「てまえどり」啓発ポスター・POPの掲示 ◆食品ロス削減啓発メッセージの小学校での放送・ラジオCMでの放送 ◆食品ロス削減啓発動画のデジタルサイネージ等での放送
山梨県	○	○		○				○	・出張講座や講師依頼による講座開催 ・県内4地域で料理教室を開催し、そのレシピの調理動画を作成・YouTube等で公開 ・食品ロス削減トークショーの開催 ・事業者と連携したフードドライブの実施 ・県庁フードドライブの実施 ・SNSを活用した啓発 等
和歌山県環境生活部環境政策局循環型社会推進課				○				○	サポーター認定（2023年1月10日付け）後はまだ活動できていないが、今年度以下のとおり食品ロス削減に係る取組を実施した。 ・出張講座にて、食品ロスをテーマに講座を実施 講座回数：2回 講座場所：県内小学校（中・高学年） 参加人数：82名 ・県公式ホームページへの食品ロス削減に係る情報の掲載、SNSやラジオによる啓発 ・県内イベントにおいて冷蔵庫に貼るマグネットシートを配布
個人			○						日ごろ、食品ロス削減に関する情報をくさりありがとうございます。 令和5年2月、「ストップザ温暖化・東金」という団体が主催するポスター展に参加しました。この団体は、千葉県地球温暖化防止活動推進員からなり、私は昨年5月に加わりました。自分たちが暮らす地域での啓発を目的として2日間、県地球温暖化防止活動推進センターからお借りしたポスターの掲示、アンケート調査などを行いました。 その中で、食品ロス削減に関するポスターも1枚、掲示しました。書かれている内容について補足説明をしました。
個人		○						○	市廃棄物削減等推進審議会委員として委員会に参加・発言。 食品ロス削減川柳の投稿。
個人	○	○	○					○	PowerPointを作成して話をしました。食品ロスやエネルギー消費、SDGsも絡めて構成しています。
個人	○	○	○	○				○	NPO団体の活動に参加して、啓発活動をした。高崎市の環境フェスティバルでテントを張り、地域の参加者へ啓発活動をした。
個人		○							公民館にて、R5年3月18日に、市民講座の講師派遣の補助役として参加した。 参加者：約10名。50才代から70才代。 ・地球温暖化防止との関係では、フードマイレージ、ヤビエールハウス栽培のエネルギー使用量の増加 ⇒地元対応の大切さ「地産地消」から、「旬産旬消」へ。⇒千葉県の地元産の野菜や漁獲量、種類などの説明。 ・賞味期限と消費期限の意味。牛乳パックの店番からのとりかた。 ・1/3ルールや3010運動など。 ・環境マークの説明。海のエコラベルや養殖の環境ラベルなど。 ・身土不二。
個人	○	○							2022年度：9月10日 木更津市西清川公民館講座（講師）・12月4日 環境学習センターでの研修（講師） 3月14日 八街ユネスコ協会講演（講師） ・3月18日 木更津市富来田公民館セミナー（講師）  2019年度（5回）： 3月 環境学習センター相互研修 ・4月 市原市辰巳公民館 ・9月 茂原市役所 11月 茂原市五郷地区 ・12月 野田市開宿中央公民館 2020年度（3回）： 7月 環境学習センター相互研修 ・11月 千葉市生涯学習センター ・市原市姉崎公民館 2021年度（3回）： 1月 木更津市西清川公民館 ・11月2回 成田市生涯学習センター 以上、現在まで 15回全てにおいて講師をさせて頂きました。 テーマは同じでも、対象～年代の違い、地球環境の様変わりに対応した内容に変えています。
個人	○	○	○			○			従来より食育活動をしてきており、講演や料理教室の依頼があります。マクロビオティックの講師として地球全体を取り巻く環境や生活の仕方について伝える場面が多くありますので講義内容を主に食品ロス削減の重要性を伝え、それを実践するための調理方法を実践してお伝えしています。また現在出雲市連合婦人会長としてSDGs活動ベースで団体を通したイベントを開催しておりますので、その際には必ず食品ロス削減についてもお伝えすることとしています。

食品ロス削減推進サポーター 活動報告

団体名（五十音順）	活動種別								具体的取組
	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者助言	事業者等連携	その他	
個人			○						正直、コロナの影響も少し有り、ほとんど活動を実施できていません、最近パンフレットやポスターを送付していただいて、それらを自治会や公民館へ配布 するように考えています。啓発活動をどのようにするか、色々考えて実施します、
個人	○	○	○	○	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国47都道府県と市区町村、合わせて439自治体が参加する 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」会長として、自治体・食品関連事業者・消費者の連携をつなぎ、実践行動の定着に向けて取組んだ。2022年8月29日には福井県庁から全国自治体向けに「食べきり塾」オンラインセミナーを発信。また、10月30日に「第6回食品ロス削減全国大会inさいたま」を実施。次世代の参加を重視した取組を進めた。</li> <li>●その他、全国の自治体・団体の依頼で、市民・事業者向け講演・研修会を実施。主には、8月20日「新潟県」、23年1月27日「文京区」、1月31日「大阪消団連」に向けて、「食品ロス削減講演」を実施しました。</li> <li>●事務所所在地の東京都新宿区で「3R推進協議会会長」を務めており、区内の百貨店、スーパー、外食と消費者の連携の推進に向けて、2022年9月2日には事業者の先進事例の共有会を開催しました。</li> <li>●2025大阪・関西万博の持続可能な運営に向けて、博覧会協会の「資源循環WG」座長として、特に食品ロス削減は重要テーマと考え、外食事業者と勉強会を開催するなど、具体的な仕組みの検討を進めている。</li> </ul>
個人		○							3月1日～4日、港区立消費者センターで開催された消費生活展で、「食品ロスを減らす3つの約束」と題して、サポーター講座を受講した4名で食品ロスに関する展示を行いました。当日は、消費者庁の資料（露が岡：パンフレット 徳島：絵本、めりえ、ちらし）や自分たちで作成したオリジナルの紙芝居、FAO作成／ハンガリーワールド日本語訳のインフォグラフィックなどを展示しました。子供たちにもりえをお渡しし、保護者の方に食品ロスについて説明をしたり、毎日の生活の中で工夫している点などをお聞きしました。怪獣のめりえと絵本は子どもたちの関心が高く、たくさん立ち止まって見てくれました。来場者公式発表では463名、そのうち220名ほどが食品ロスのコーナーで話を聞いてくれました。
個人			○						市内の合唱連盟の「合唱の集い」や男声合唱団の日常レッスンの合間に数回啓発活動を行った。
個人	○	○		○			○	○	富山県の環境政策課及び富山県環境財団、黒部市社会福祉協議会と共に、フードドライブの実施時に受付、記録を行う。県内でフードドライブのボックスを常設してもらえる団体に協力を依頼。富山市のSDGs推進ワーク時に、ごみの現状(特に食品ロス)について解説。富山市にて、資源循環型の店舗運営の企業と、食品ロスの現状とサルベージパーティを実施。
個人				○					SDGsでは食品ロスを考えます。学校給食の調理などの過程では野菜の残材がどうしても生じてしまいます。そこで、市内の小学校で野菜残材を利用したお菓子やたい肥作りの出前講座を行いました。お菓子ではみかんの皮に砂糖をまぶしたピール作り、そして腐葉土に細かくした野菜くずと米ぬかを加えて、温度・水分・掻き混ぜを行うコンポストの方法を伝え、3ヶ月間実践しました。出来上がったコンポストは花壇の土に加えて、花を育て、春に卒業を迎える6年生に渡したそうです。
個人								○	市の廃棄物対策審議委員として、食品ロスを含むレポート提出

食品ロス削減以外の活動報告

団体名	活動種別								具体的取組
	団体独自	地公体連携	地域イベント	学校授業	社員教育	事業者助言	事業者等連携	その他	
富士食品工業株式会社								○	廃棄アイスや中華総麺などを飼料や肥料にリサイクルしました。

# (参考)活動報告書フォーマット

報告日 令和 年 月 日

消費者庁 消費者教育推進課  
食品ロス削減推進室長 宛て  
(Mail: no-foodloss@caa.go.jp)

## 食品ロス削減推進サポーター活動報告（定期報告）

当団体は、消費者庁食品ロス削減推進サポーターとして、令和4年度に、以下の活動を行いましたので報告いたします。

- 1 団体名  必須
- 団体種別  必須
- 2 代表者・報告者  
氏名  必須
- 3 サポーター登録情報  
団体内登録人数  名 必須  
実際に活動した人数  名

### 4 活動内容

- 1) 食品ロス削減に関する活動概要について、以下の項目から当てはまるものに **必須**

- 団体独自のイベント・学習会などでの啓発活動（団体内サポーター育成を含む）
- 地方公共団体と連携したイベント・講座での啓発活動
- 地域での啓発活動（イベント、ファーマーズマーケット、展示会等）
- 学校現場でのSDGs、環境、社会、家庭科、食育等での出前授業
- 社員教育として企業への講師派遣
- 地元の食品事業者等への食品ロス削減方法について助言
- 食品事業者等と連携した食品ロス削減の取組（フードバンク活動、フードドライブ等）
- その他

- 2) 具体的な取組内容について ※自由記述 **必須**

- 3) 活動にあたり、目標設定・達成率があれば記載してください。

具体的な目標設定

達成率

% ※おおそでも構いません。

- 4) 活動状況を公表したウェブサイトがあれば、以下にURLを記載してください。

5 活動した感想（活動してよかったこと、工夫したこと、困ったことなど） ※自由記述 必須

6 今後の活動予定・目標

7 連携する地方公共団体

地方公共団体名

電話番号

メールアドレス

以上